

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 38,500~42,000円 TOPIX 2,650~2,900
- * 期待材料 賃上げに伴う個人消費の拡大 グローバル製造業の業績改善 半導体設備投資の増加
- * 不安材料 FRBの利下げ先送りに伴う米国市場の混乱 中東の地政学リスクの高まり

【日本株は底堅い展開を期待】 米消費者物価指数が市場予想を上回り、利下げ観測が後退したことを受けて、先週は米国株が軟調な動きとなり日本株も下押しした。ただ、賃金増や製造業の景況感持ち直しなど、日本経済のファンダメンタルズに改善の動きが出ており、下値は限定的になるものと思われる。内閣府が発表した3月の消費動向調査では、春闘での賃上げ期待により、消費者心理を表す消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)が、2019年5月以来の高水準へ上昇。2月の毎月勤労統計調査(速報)によると、名目賃金が8ヵ月ぶりの上昇率、所定内給与は1994年10月以来の高い伸びとなった。実質賃金はまだマイナスだが、4-6月にもプラスに転換するとの見方も出ており、国内消費は回復の勢いが増してくることが期待される。製造業では、3月の米ISM製造業景況指数が50.3となり、22年9月以来の拡大圏に浮上。中国の3月財新製造業PMIも51.1と1年1ヵ月ぶりの高水準となるなど、改善の動きが出ている。米国の利下げ先送りへの警戒感から、日本株は不安定な動きになっているが、経済環境に好転の動きが見られることから、個人消費関連や自動車、建機、電子部品などグローバル製造業がけん引役となり、日本株は今後も底堅い展開になることが期待される。

【今週は半導体大手の決算に注目】 今週の予定では17日に半導体露光装置のASML、18日に半導体受託製造のTSMCの決算発表が予定されており、半導体市況に対して強気な見通しが示されれば、上昇一服感のある半導体関連が再度高値を目指す展開になることが想定される。特にTSMCは、1-3月の売上高速報値が前年同期比16%増となり約1年ぶりの高い伸びとなった。AI関連需要がけん引しているものと思われ、期初時点で280~320億ドルとしていた24年の設備投資額が上方修正されることとなれば、SCREEN HDやローツェ、東京エレクトロンなどTSMCを顧客とする日本の半導体関連銘柄の追い風になるものと思われ、設備投資動向にも注目したい。(4月11日現在、松本 直志)

今週の予定

	国内	海外
4/15 (月)	2月機械受注(8:50) 東電HD、柏崎刈羽原子力発電所7号機 で約7年ぶりに原子炉に核燃料装入	[米] 3月小売売上高(21:30) [米] IMF・世界銀行春会合(~20日) 決算: ゴールドマン・サックス
16(火)	衆院東京15区、島根1区、長崎3区補 欠選挙告示 新浪経済同友会代表幹事会見	[中] 3月鉱工業生産(11:00) [中] 3月小売売上高(11:00) [米] 3月住宅着工件数(21:30)
17(水)	3月貿易統計(8:50) 医療ICT・在宅医療展(~19日)	[米] 地区連銀経済報告(27:00) 決算: ASML
18(木)	日銀 野口審議委員、佐賀県金融経済懇 談会で講演 日本眼科学会総会(~21日)	[米] 3月中古住宅販売件数(23:00) 決算: TSMC、ブラックストーン、ネットフリ ックス
19(金)	3月全国消費者物価指数(8:30)	[印] 国会議会・州の首長選挙総選挙(~6月)
20(土)	郵政記念日	[中] ファッション・インスタイル(~23日)
21(日)	柔道・全日本女子選手権	[中] 自動車・F1第5戦中国GP決勝

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 **デンソー (6902)** 東証プライム



22年3月期 (百万円)		前年比	23年3月期 (百万円)		前年比	24年3月期(予) (百万円)		前年比	株価(4/11)	2,949.5 円
売上収益	5,515,512	11.7%	6,401,320	16.1%	7,120,000	11.2%			業種	輸送用機器
営業利益	341,179	120.0%	426,099	24.9%	495,000	16.2%			時価総額	92,962 億円
税引前利益	384,808	98.6%	456,870	18.7%	548,000	19.9%			PER(予想)	22.50 倍
当期純利益	263,901	111.0%	314,633	19.2%	380,000	20.8%			PBR(実績)	1.74 倍
EPS(円)	85.7		104		128.52				ROE(実績)	7.25 %
配当金(円)	41.25		46.25		52				配当利回り(予想)	1.76 %
									担当	多功 毅

(注)23年10月1日付で1:4の株式分割を行っており、EPSおよび配当金は遡及修正している

出所:業績に関する数値は決算短信より

【電動化関連製品に強み】 事業規模、技術力で世界有数のトヨタ系の自動車部品メーカー。トヨタグループ向けの販売比率は約5割で、グループ外の自動車メーカー向けにも幅広く供給している。トヨタの初代プリウス向けから培ってきた電動車関連製品に特に強みを持つとともに、自動運転に寄与する予防・安全関連製品も市場拡大に伴い業績貢献度が拡大している。

【品質関連コストの一巡で新年度業績の拡大を想定】 24年3月期決算は主力顧客のトヨタ向けを中心とした拡販、特に電動化関連などの差別化製品が伸びたことで、3Q累計(4-12月)までの一過性の品質費用を除く実態ベースの業績は順調に推移した。過去に納入した燃料ポンプに関係する品質費用は、既存納入製品の大半について費用を引き当てたため、同影響は一巡した可能性が高い。25年3月期は、主要顧客であるトヨタ向けを中心とした納入台数の増加に加えて、世界的に需要の高まるハイブリッド車(HEV)の増加や先進運転支援システム(ADAS)採用車種増加に伴う1台当たりの採用部品数の拡大も見込まれる。さらに、収益性に課題があった熱関連製品におけるリストラ効果の発現や品質関連コストの減少も寄与することで、新年度の業績も好調に推移することが想定される。

【中長期的に自動車市場を上回る成長を想定】 中長期的な観点でも、自動車市場の成長率を上回る業績拡大が期待される。競争力及び収益性の高いインバータなどの電動化関連製品の成長に加えて、現状では開発費用が先行するADAS関連製品もシェアアップと利益率改善によって、本格的な利益貢献が期待される。なお、足元ではEV人気が減速すると共に、世界的にHEVの見直しが進んでいるが、過去に開催された説明会では、HEVはガソリン車やEVに対して、1台当たりの売上高は大きいと説明していた。HEV向け部品の技術的な優位性などを踏まえると、利益率についてもガソリン車やEV向けを凌駕しているものと推察する。株式の持ち合い解消に積極的であり、資本効率改善に意欲的な点も評価したい。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(4/11)	コメント
あみやき亭 (2753) 東証プライム 6,480 円	焼肉店を中心に展開する外食チェーン。24年3月期通期決算は前年同期比16.6%増収、営業利益は5.3倍。不採算店舗の撤収・業態転換効果に加えて、人流回復に伴う客数増、高付加価値商品の投入、コストアップに応じた値上げなどを通じて既存店の回復が進展。今期は12.4%増収、22.4%営業増益を計画。既存店売上高は全社で6.1%増、新規出店は「感動の肉と米」業態を中心に20店を計画。「感動の肉と米」は24年3月期末の32店を25年3月期末50店、25年12月末80店、長期的には1,000店舗を目指す方針。(多功 毅)
ウエルシアHD (3141) 東証プライム 2,366.0 円	24年2月期通期決算は前年同期比6.4%増収、5.3%営業減益。PB強化による効果や人流の回復があったものの、タバコの取り扱いを順次取り止めていることによる集客減やコロナ関連需要の反動減により計画比下振れ着地。今期は既存店売上高3.9%増を前提に5.7%増収、8.7%営業増益を計画。コロナ反動減の影響一巡、調剤の成長継続による増収効果、PB強化やカウンセリング販売強化による粗利益率改善などを見込んでいる。(多功 毅)
霞ヶ関 キャピタル (3498) 東証プライム 15,930 円	グループ旅行向けホテルや冷凍冷蔵倉庫、ホスピスなどの不動産を開発し、ファンドの組成、運用も受託。24年8月期2Q累計(9-2月)決算は前年同期比26.2%増収、38.5%営業増益となり売上、営業利益ともに過去最高を更新した。増資で獲得した資金を活用し、ホテルや冷凍冷蔵倉庫など開発案件を積み上げ、通期計画達成に向けて順調に推移。開発中のホテルは昨年の574室に対して997室へ増加。冷凍冷蔵倉庫は、冷凍食品市場の拡大や既存設備の老朽化により需給がひっ迫しており、開発を強化する方針。(松本 直志)
パナソニック HD (6752) 東証プライム 1,408.0 円	傘下のパナソニックコネクトは、完全子会社の米ブルーヨンダー社が米ワン・ネットワーク社を約8.4億ドルで買収すると発表。25年3月期の2Q(7-9月)の買収完了を予定している。ブルーヨンダー社は、サプライチェーン管理の分野で製品の需要や納期を予測するソフトを展開している。ワン・ネットワーク社は商品需要と在庫などのデータを複数社がリアルタイム共有できるプラットフォームを手掛けている。パナソニックコネクトの樋口社長は「今回の買収は圧倒的なゲームチェンジャーになる」と強調した。(志田 憲太郎)
マニー (7730) 東証プライム 1,810.5 円	外科手術の縫合用アイレス針(主にOEM生産)、歯科用の研削と歯科修復材、眼科用ナイフなどを展開。24年8月期2Q累計(9-2月)決算は前年同期比15.7%増収、21.5%営業増益。アジア(中国とインド)、北米、欧州地域を中心に販売が増加、全セグメントで増収、円安効果もあり営業利益は大幅増加となった。また円安は売上原価には悪化要因だが生産性改善の効果もあり粗利も改善した。通期計画据え置きも為替次第で上振れを想定。(志田 憲太郎)
イオン (8267) 東証プライム 3,348 円	24年2月期通期決算は前年同期比4.8%増収、19.6%営業増益となり、3期連続で増収増益、売上、営業利益ともに過去最高を更新した。消費者の節約志向に対応し、トップバリュの販売が好調に推移。食品スーパーやディスカウント店、まいばすけっとなどの収益拡大がけん引した。セルフレジなど効率化投資で利益率も改善した。今期は前年同期比4.7%増収、7.6%営業増益計画。DXによる収益性向上、トップバリュの拡販で増収増益を目指す。(松本 直志)

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室